

令和3年12月17日
第30期東京都立図書館協議会

令和2年度都立図書館自己評価に対する意見

第30期東京都立図書館協議会は、第2回定例会（令和3年12月17日開催）において、東京都立図書館が実施した「令和2年度東京都立図書館自己評価」に対し、意見を述べた。主な意見は以下のとおりである。

【来館型サービスに関する指標について】

○新型コロナウイルス感染症の影響で、来館者が減少していることが心配である。時期の予測が難しい点はあるが、一度足が遠のいた利用者に都立に戻って来てもらうための特別な対応が必要なのではないか。

【非来館型サービスに関する指標について】

○レファレンス質問件数の[参考2]質問タイプの推移年次割合について、「リテラシー支援」とは何を指しているか。また、「所蔵調査」から「リテラシー支援」までの各年の合計があるとより分かりやすいのではないか。

※ご意見を反映して図表を修正済み。

【区市町村立図書館からのレファレンスの減少について】

○昨年度の協議会の指摘への対応に感謝する。「調査の最後の砦」となるという点について、今後具体的にどのように進めるかということを含めて、充実した図書館活動を期待する。